

千歳市教育施策の平成29年度実施状況と平成30年度の主な取組

分野	項目	平成29年度の主な実施状況	平成30年度の主な取組
学校教育	1 確かな学力を育成する教育の推進	<p>学力向上の推進</p> <p>① 各学校の「学校改善プラン」に関するヒアリングを踏まえた、重点項目「授業内容の理解定着」、「家庭学習の充実」、「算数・数学科における習熟度別指導・T T指導等の指導方法改善・充実」の着実な定着</p> <p>② 全小中学校で「土曜授業」を4月15日又は22日、5月13日、10月28日、12月9日の年4回、市内で統一実施</p> <p>③ 千歳市学力向上検討委員会における「全国学力・学習状況調査」の分析・対応、授業改善案の提言、学校への提言などの取組や、「千歳チャレンジ」などの学習プリントの活用促進</p> <p>④ 千歳科学技術大学の学生ボランティアによる「学習サポート事業」の実施、千歳科学技術大学が開発した「eラーニングシステム」の各教科のコンテンツ内容の見直し、「eカレッジ」の参加促進 拡充</p> <p>⑤ 千歳市学力向上検討委員会において学力向上モデル校（小学校3校、中学校2校）を指定。小学校部会と中学校部会を設置し、学力向上の取組を実施 新規</p> <p>⑥ 千歳市の子どもたちの学力の現状や課題、学力の必要性、家庭学習の重要性などを分かりやすく解説した「学力向上に関するパンフレット」を作成 新規</p> <p>⑦ 標準学力検査（NRT）の小学6年生の科目に理科を追加 拡充</p>	<p>学力向上の推進</p> <p>① 千歳市学力向上委員会の「学校への5つの提言」を踏まえた学習指導の改善、習熟度別少人数指導の充実、望ましい学習集団の形成を検証・改善サイクルの確実な運用により全校で実施</p> <p>② 全小中学校で「土曜授業」を4月14日又は21日、5月12日、10月27日、12月8日の年4回、市内で統一実施</p> <p>③ 「全国学力・学習状況調査」を学習指導の成果指標の1つとし、「千歳チャレンジ」、「学習プリント」の活用などによる学習内容の確実な定着</p> <p>④ 千歳科学技術大学の学生ボランティアによる「学習サポート事業」の実施、千歳科学技術大学が開発した「eラーニングシステム」の活用状況調査の実施と各教科のコンテンツの検証、「eカレッジ」の参加促進 拡充</p> <p>⑤ 千歳市学力向上検討委員会における学力向上モデル校の指定（小学校3校、中学校2校）と、小学校部会と中学校部会による進行管理の徹底、成果指標の明確化など取組の質的な充実 拡充</p> <p>⑥ 学力向上に関するパンフレット「知性で未来を切り拓く千歳の子ども」を児童生徒を通じて各家庭に配布し、学習習慣・生活習慣の改善について各家庭における主体的な取組を促進 拡充</p>
		<p>学校指導体制の充実</p> <p>① 学校指導室に配置している学校教育主事（非常勤職員：退職校長）を1名増員し3名体制とし、学校指導体制を充実 拡充</p> <p>② 学校指導室による独自学校指導訪問として、経営訪問、指定事業訪問、一般訪問、課題別訪問などの実施 拡充</p>	<p>学校指導体制の充実</p> <p>① 学校指導室に配置している学校教育主事（非常勤職員：退職校長）3名による市内統一した取組の徹底</p> <p>② 学校指導室による独自学校指導訪問として、経営訪問、指定事業訪問、一般訪問、課題別訪問などの実施</p>
		<p>習熟度別少人数指導の推進</p> <p>① 確かな学力の向上を図るため、「学習支援員」を小学校に6名増員し14名から20名に、中学校に2名新規配置し、全体で14名から22名とし、習熟度別少人数指導を充実、平成29年、30年度で段階的に拡大し、最終的に14名から30名に拡大 拡充</p>	<p>習熟度別少人数指導の推進</p> <p>① 確かな学力の向上を図るため、「学習支援員」を小学校に2名増員し20名から22名に、中学校に2名増員し2名から4名に、全体で22名から26名とし、習熟度別少人数指導を充実、最終的に30名体制に拡大 拡充</p>

分野	項目	平成29年度の主な実施状況	平成30年度の主な取組
学校教育		<p>生活習慣・家庭学習の普及定着</p> <p>① 千歳市PTA連合会の「千歳市家庭生活宣言推進委員会」による取組、各学校の単Pにおける「千歳市家庭生活宣言」を踏まえた具体的な取組の実施 拡充</p> <p>② 市民提案型協働事業として千歳市PTA連合会と教育委員会の協働による「家庭生活宣言」の普及啓発に関する新規事業の実施（平成29.30年度） 新規</p>	<p>生活習慣・家庭学習の普及定着</p> <p>① 千歳市PTA連合会の「千歳市家庭生活宣言推進委員会」による取組、各学校の単Pにおける「千歳市家庭生活宣言」を踏まえた具体的な取組の実施 拡充</p> <p>② 中学校区ごとに小中学校共通の「家庭学習の手引き」の作成と普及 拡充</p> <p>③ 市民提案型協働事業として千歳市PTA連合会と教育委員会の協働による「家庭生活宣言」の普及啓発に関する事業の継続（平成29.30年度） 拡充</p>
	2 教育環境の充実	<p>学校施設の整備</p> <p>① 安全・安心な教育環境を確保するため、校舎の屋上防水、講堂の外壁及び屋根、トイレ、放送設備などの大規模改修の実施、屋内運動場の非構造部材の耐震化工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修 … 北栄小、北陽小、千歳中、北斗中 ・放送設備更新 … 泉沢小、支笏湖小、駒里小中 平成29年度完了 ・非構造部材耐震化 … 北栄小、桜木小、北陽小、東小、支笏湖小、駒里小中 <p>② 小中学校煙突のアスベスト対策「点検マニュアル」に基づき、毎年4月から8月までの間に目視等により、劣化・損傷調査を実施 拡充</p>	<p>学校施設の整備</p> <p>① 安全・安心な教育環境を確保するため、校舎の屋上防水、講堂の外壁及び屋根、トイレ、放送設備などの大規模改修の実施、屋内運動場の非構造部材の耐震化工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修 … 駒里小中、北陽小、東千歳中 ・非構造部材耐震化 … 緑小、向陽台小、泉沢小、北斗中、勇舞中 平成30年度完了 <p>② 小中学校煙突のアスベスト対策「点検マニュアル」に基づき、毎年4月から8月までの間に目視等により、劣化・損傷調査を実施</p>
		<p>I C T機器の整備</p> <p>① 電子黒板等を小学校15校の理科室や音楽室などの特別教室に26式、中学校6校の音楽室や家庭科室などに32式の整備、小中学校の全普通教室に加え、習熟度別少人数指導用教室や特別支援学級、主要な特別教室の整備 拡充</p> <p>② 全小中学校におけるデジタル教科書の活用促進</p> <p>③ 北陽小学校及び勇舞中学校におけるタブレット端末の授業活用効果の検証</p> <p>④ 教員のI C T機器活用能力の向上を図るための校内研修の充実と、千歳市教育振興会と連携した教員対象の全体研修の開催</p>	<p>I C T機器の整備</p> <p>① 平成23年度から整備したコンピュータ教室用パソコン及び校務用パソコンを2か年計画で更新。平成30年度は、小中14校のコンピュータ教室用パソコン400台と、小中12校の校務用パソコン315台を更新 新規</p> <p>② 全小中学校におけるデジタル教科書の活用促進</p> <p>③ 北陽小学校及び勇舞中学校におけるタブレット端末の授業活用効果の検証</p> <p>④ 教員のI C T機器活用能力の向上を図るための校内研修の充実と、千歳市教育振興会と連携した教員対象の全体研修の開催</p> <p>⑤ 教室等でインターネットを使用できる環境を整備するため、全小中学校の校内無線LAN整備計画・教室用パソコン整備計画を策定 新規</p>
		<p>小中連携・一貫教育の推進</p> <p>① 「小中連携・一貫教育」の導入に向けて、先進事例を調査研究し、平成29年11月に「千歳市小中連携・一貫教育推進基本方針」を策定 新規</p>	<p>小中連携・一貫教育の推進</p> <p>① 青葉中学校区及び東千歳中学校区を「調査研究実践モデル校区」に指定し、9年間の学びを通じた調査研究を推進 新規</p>

分野	項目	平成29年度の主な実施状況	平成30年度の主な取組
学校教育		奨学金制度の拡充 ① 奨学金の支給枠の拡大を図り、若者の進学意欲を高めるため、給付型奨学金の交付人数を高校生の部は45名から60名に、大学生の部は20名から25名に拡大 拡充	奨学金制度の拡充 ① 若者の就学機会の確保と進学意欲を高めるため、給付型奨学金の拡充を検討 拡充
		就学援助の充実 ① 保護者の経済的負担の軽減を図るため、就学援助費のうち新入学児童生徒学用品費の年度前支給を実施 新規	就学援助の充実 ① 保護者の経済的負担の軽減を図るため、就学援助費を支給するとともに、新入学児童生徒学用品費の年度前支給を継続実施
		過大規模校への対応 ① 北陽小学校の児童数増加に対応するため、これまで4回の増築を実施 拡充	過大規模校への対応 ① 北陽小学校の児童数増加に対応するため、分離新設校の建設に向けた具体的な検討に着手 新規
		教職員の働き方改革の推進 ① 教職員の長時間勤務及び多忙化に対する負担軽減を図るため、「北海道アクションプラン」の推進と具体的取組の実施	教職員の働き方改革の推進 ① 教職員の長時間勤務及び多忙化に対する負担軽減を図るため、長期休業期間中に学校閉庁日を設定するとともに、週1日の部活休養日や、定時退勤日の取組を推進 拡充
3	国際社会に生きる人材を育成する教育の推進	外国語活動の推進 ① 全小学校の1年生から4年生において、共通の指導計画による外国語活動の完全実施（小学1,2年 年間5時間、3,4年 年間10時間） ② 全小学6年生を対象に英語能力の判定を行うため、28年度に実施した「英検IBA」を「英検ジュニア学校版」に変更し実施 拡充 ③ 外国人英語指導助手（ALT）による小学校におけるリスニング用CDの作成、中学校における長期休業期間中の外国語サポート事業の実施 ④ 全小学校から1名ずつ教員を募り、「千歳市外国語推進協議会」を設置し、小学5,6年生が年間35時間学習している外国語活動が教科化され年間70時間となる次期学習指導要領への対応案を検討 新規 ⑤ 小学校教員の外国語の指導力と英語力の向上を目的に、指導教員が複数校を巡回し指導助言を行う小学校外国語活動巡回指導教員研修事業を新たに実施 本務校：千歳第二小学校、兼務校：他の市内小学校（平成29,30年度） 新規 ⑥ 小学校教員と中学校英語科担当教員を対象に「外国語活動研修会」を開催 拡充 ⑦ 市民講師の派遣時間を793時間から1,103時間に拡大 拡充	外国語活動の推進 ① 次期学習指導要領への移行期として、小学校5,6年生の外国語活動を年35時間から年50時間に拡大し、3,4年生でも年15時間を実施 拡充 ② 全小学6年生を対象に英語能力の判定を行うため、「英検ジュニア学校版」を実施 ③ 外国人英語指導助手（ALT）による小学校におけるリスニング用CDの作成、中学校における長期休業期間中の外国語サポート事業の実施 ④ 「千歳市外国語推進協議会」による移行期間の取組状況の把握と交流、「千歳市外国語活動推進委員会」による小学校1,2年生における指導内容の検討 拡充 ⑤ 小学校教員の外国語の指導力と英語力の向上を目的に、指導教員が複数校を巡回し指導助言を行う小学校外国語活動巡回指導教員研修事業の継続実施 本務校：千歳第二小学校、兼務校：他の市内小学校（平成29,30年度） ⑥ 小学校の外国語活動の拡充に対応するため、ALT1名を増員 拡充

分野	項目	平成29年度の主な実施状況	平成30年度の主な取組
		<p>国際理解教育の推進</p> <p>① ミアーズ中学校受入、平成29年5月28日から6月2日までの6日間、生徒20名</p> <p>② 千歳小学校とサンドレイク小学校の単独校交流を全小学校へ拡大、サンドレイク小学校訪問 平成30年1月8日から13日までの6日間、市内小学生30名 拡充</p>	<p>国際理解教育の推進</p> <p>① ミアーズ中学校訪問、平成31年1月7日から14日まで（予定）の6日間、中学生20名</p> <p>② サンドレイク小学校受入 平成30年6月11日から17日まで（予定）の6日間、児童30名</p>
	4 地域全体で子どもを育む環境づくりの推進	<p>コミュニティ・スクールの導入</p> <p>① コミュニティ・スクールの調査研究校（青葉中、高台小、駒里小中）による導入のあり方や充実・改善に関する調査研究の実施（平成29.30年度） 拡充</p> <p>② 千歳市学校運営協議会規則の制定（平成30年2月） 新規</p> <hr/> <p>不審者対策の推進</p> <p>① 「千歳っ子見守り隊」活動への継続的支援、永年感謝状交付の実施</p> <p>② 青少年指導センターの指導員による巡回パトロールのほか、不審者情報の速やかな通報や「不審者情報マップ」の配布</p> <p>③ 新たに市提案型協働事業として、「緊急避難所子ども110番の家事業」を実施し、登録している事業者や民家などへの確認作業と登録の新規開拓を実施したほか、校区ごとに「子ども110番の家」を掲載した安全マップを作成し、全児童に配布 新規</p>	<p>コミュニティ・スクールの導入</p> <p>① コミュニティ・スクールの調査研究校（青葉中、高台小、駒里小中）による導入のあり方や充実・改善に関する調査研究の実施（平成29.30年度） 拡充</p> <p>② 調査研究校における学校運営協議会の設置によるコミュニティ・スクールの導入（4月：高台小学校、青葉中学校）と、他校への導入推進 新規</p> <hr/> <p>不審者対策の推進</p> <p>① 「千歳っ子見守り隊」活動への継続的支援、永年感謝状交付の実施</p> <p>② 青少年指導センターの指導員による巡回パトロールのほか、不審者情報の速やかな通報や「不審者情報マップ」の配布</p> <p>③ 市提案型協働事業「緊急避難所子ども110番の家事業」の継続実施し、登録している事業者や民家などへの確認作業と登録の新規開拓を実施するほか、校区ごとに「子ども110番の家」を掲載した安全マップを作成し、全児童に配布 拡充</p>

分野	項目	平成29年度の主な実施状況	平成30年度の主な取組
学校教育		<p>いじめ防止・不登校対策の推進</p> <p>① 児童生徒の学校生活における意欲や満足度を把握し、いじめ・不登校の未然防止や学年・学級経営に活用するため、「ハイパーQ U検査」を小中学校の全学年で年2回実施（中学3年生は1回実施）</p> <p>② 国の「いじめ防止等のための基本的な方針」の改定に伴い、「千歳市いじめ防止基本方針」及び「学校いじめ防止基本方針」の見直しの実施 拡充</p> <p>③ いじめや不登校、暴力行為、児童虐待などの生徒指導上の課題に対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心の教室相談員による教育相談体制の充実</p> <p>④ いじめ問題への対応のため、学校・警察・PTAなどによる「いじめ問題等対策連絡協議会」との連携、年4回の「いじめアンケート」の実施、「いじめ相談ボックス」の活用、「千歳市いじめ問題専門委員会」によるいじめ対策の成果と課題の検証</p> <p>⑤ 不登校児童生徒の一日も早い学校復帰のための学校適応指導教室「おあしす」の運営</p> <p>⑥ 「不登校学校対応マニュアル」による不登校の未然防止・早期対応の徹底、校内支援チームによる組織的な対応</p> <p>⑦ ネット上のいじめやネットトラブルの防止のためのネットパトロールの実施と「情報モラル教育」の充実</p>	<p>いじめ防止・不登校対策の推進</p> <p>① 児童生徒の学校生活における意欲や満足度を把握し、いじめ・不登校の未然防止や学年・学級経営に活用するため、「ハイパーQ U検査」を小中学校の全学年で年2回実施（中学3年生は1回実施）</p> <p>② いじめ確認調査の的確な実施と正確ないじめの認知並びに「千歳市いじめ防止基本方針」及び「学校いじめ防止基本方針」に基づくいじめ対策の徹底 拡充</p> <p>③ いじめや不登校、暴力行為、児童虐待などの生徒指導上の課題に対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心の教室相談員による教育相談体制の充実</p> <p>④ いじめ問題への対応のため、学校・警察・PTAなどによる「いじめ問題等対策連絡協議会」との連携、年4回の「いじめアンケート」の実施、「いじめ相談ボックス」の活用、「千歳市いじめ問題専門委員会」によるいじめ対策の成果と課題の検証</p> <p>⑤ 不登校児童生徒の一日も早い学校復帰のための学校適応指導教室「おあしす」の運営</p> <p>⑥ 「不登校学校対応マニュアル」による不登校の未然防止・早期対応の徹底、校内支援チームによる組織的な対応</p> <p>⑦ ネット上のいじめやネットトラブルの防止のためのネットパトロールの実施と「情報モラル教育」の充実</p>
	5 豊かな心を育成する教育の推進	<p>読書活動の推進</p> <p>① 子どもたちの読書活動の充実を図るため、「ちとせっ子読書プラン」を推進</p> <p>② 学校図書館の充実を図るため、全小中学校に配置している学校司書を2人工増員し、配置時間を1校あたり平均123時間増加し年473時間に、配置日数を1校あたり平均年20日増加し年86日に拡大 拡充</p> <hr/> <p>道徳教育の充実</p> <p>① 規範意識や自尊感情、思いやりの心などの道徳性を養うため、「私たちの道徳」を活用した道徳教育の推進</p> <p>② 平成30年度からの教科化に向けて、道徳教育推進校の信濃小学校などによる研究発表を通じて、教員の指導力を向上</p>	<p>読書活動の推進</p> <p>① 子どもたちの読書活動の充実を図るため、「ちとせっ子読書プラン」を推進</p> <p>② 学校図書館の充実を図るため、全小中学校に配置している学校司書を3人工増員し、配置時間を1校あたり平均259時間増加し年732時間に、配置日数を1校あたり平均年36日増加し年122日に拡大 拡充</p> <hr/> <p>道徳教育の充実</p> <p>① 規範意識や自尊感情、思いやりの心などの道徳性を養うため、「私たちの道徳」を活用した道徳教育の推進</p> <p>② 小学校における特別の教科「道徳」の実施と道徳教育推進校の高台小学校による実践研究と成果の普及 新規</p>

分野	項目	平成29年度の主な実施状況	平成30年度の主な取組
学校教育		体験的な活動の充実 ① 児童生徒が自ら考え行動する力を育成するため、「千歳アクティブスクール事業」等における体験的活動を実施 ② 職場体験や就業体験などのキャリア教育、児童会・生徒会等のボランティア活動を実施 ③ 小中学校の学習内容の交流を深め、子どもたちのプレゼンテーション能力の向上を図るため、千歳科学技術大学を会場とした「サイエンス会議」を実施	体験的な活動の充実 ① 児童生徒が自ら考え行動する力を育成するため、「千歳アクティブスクール事業」等における体験的活動を実施 ② 職場体験や就業体験などのキャリア教育、児童会・生徒会等のボランティア活動を実施 ③ 小中学校の学習内容の交流を深め、子どもたちのプレゼンテーション能力の向上を図るため、千歳科学技術大学を会場とした「サイエンス会議」を実施
	6 健やかな身体を育成する教育の推進	体力向上の推進 ① 子どもたちのリズムやバランスなどの運動神経の発達を促す「コーディネーション運動」を推進 ② 体力の向上や運動習慣の定着に向け、全学年における「新体カテスト」の活用と、各学校が創意工夫した「1校1実践」を実施 ③ 新体カテストの実施方法改善に向けた実践事業協力校（小学校2校、中学校1校）の取組	体力向上の推進 ① 子どもたちのリズムやバランスなどの運動神経の発達を促す「コーディネーション運動」を授業に取り入れた教科体育の改善 ② 体力の向上や運動習慣の定着に向け、全学年における「新体カテスト」の活用と、新体カテストの実施方法改善に向けた実践事業協力校による実践研究及び市内各校での「事前指導の充実」、「直前指導の充実」、「正確な測定」の徹底 拡充
		健康教育の推進 ① 食物アレルギーに対応するため、学校対応マニュアルの取組徹底と転入教職員を対象とした「食物アレルギー講習」を実施 ② 子どもたちの虫歯予防を図るため、全小学校全学年において週1回の「フッ化物洗口」を実施	健康教育の推進 ① 食物アレルギーに対応するため、学校対応マニュアルの取組徹底と転入教職員を対象とした「食物アレルギー講習」を実施 ② 子どもたちの虫歯予防を図るため、全小学校全学年において週1回の「フッ化物洗口」を実施
		学校給食センターの整備検討 ① 平成28年度の基本調査結果を踏まえ、新学校給食センターの整備手法等調査業務を実施し、整備方針や整備手法などを検討 新規 ② 千歳市新学校給食センター整備検討委員会から、整備に向けた提言書を受領し整備内容を検討 新規	学校給食センターの整備検討 ① 平成29年度に実施した新学校給食センター整備手法等調査業務の調査結果に基づく、整備方針・整備手法の具体的な検討 新規 ② 新学校給食センター整備に関する基本的な方向性、整備スケジュール等の検討 新規

分野	項目	平成29年度の主な実施状況	平成30年度の主な取組
学校教育	7 特別支援教育の推進	特別支援教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ① 一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行うため、特別支援学級に児童生徒の生活全般を支援する「児童生徒ヘルパー」を配置し、通常学級においては学習や生活面の支援を行う「特別支援教育支援員」を配置 ② 「学校看護師」による医療的ケアの必要な子どもを支援 	特別支援教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ① 一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行うため、特別支援学級に児童生徒の生活全般を支援する「児童生徒ヘルパー」を配置し、通常学級においては学習や生活面の支援を行う「特別支援教育支援員」を配置 ② 「学校看護師」による医療的ケアの必要な子どもを支援 ③ 平成31年度に向け、鉄南地区及び鉄北地区における新たなブロック校への特別支援学級の設置を検討 新規
生涯学習	1 いつでも、どこでも、だれでも学びあえる仕組みづくりの推進	自主的な学習活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 自主的な学習活動を支援し市民協働のまちづくりを進めるため、「千歳学出前講座」や「生涯学習フォーラム」を実施 ② 市民活動団体の活動を広く紹介するため、「ふるさとポケット」を実施 ③ 市民の自主的な活動と交流を支援するため、市民活動交流センター「ミナクル」を市民協働で運営、各種事業の実施 ④ 「みんなで、ひと・まちづくり委員会」において、学生委員（大学生と高校生）の新たな視点とアイデアによるまちの魅力発見につながるような事業を展開 	自主的な学習活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 自主的な学習活動を支援し市民協働のまちづくりを進めるため、「千歳学出前講座」や「生涯学習フォーラム」を実施 ② 市民活動団体の活動を広く紹介するため、「ふるさとポケット」を実施 ③ 市民の自主的な活動と交流を支援するため、市民活動交流センター「ミナクル」を市民協働で運営、各種事業の実施 ④ 「みんなで、ひと・まちづくり委員会」において、まちづくりの担い手となる人材を育成するため、市民参加による講習会などを開催
		学校支援地域本部事業の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ① 「学校支援地域本部事業」の支援対象校に2校（富丘中、青葉中）を加え、20校から22校に拡大 拡充 	学校支援地域本部事業の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ① 「学校支援地域本部事業」の支援対象校に4校を加え、市内全26校に拡大 拡充
		放課後子ども教室の実施 <ul style="list-style-type: none"> ① 児童の放課後の居場所づくりのため、緑小学校区で「放課後子ども教室」を実施 	放課後子ども教室の実施 <ul style="list-style-type: none"> ① 児童の放課後の居場所づくりのため、緑小学校区で「放課後子ども教室」を実施
2	社会の変化や今日的課題などに対応した様々な学習機会の充実	学習機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ① 市民ニーズに応じた学習機会を充実するため、「市民教養セミナー」を実施 ② 国際理解や国際感覚を身につけるため、市民協働プロモーション事業「英会話教室」、「英語暗唱コンテスト」を実施 ③ 高齢者の学習機会を提供するため、「千歳高星大学」と「千歳高星大学大学院」、「若返り学園」を運営 ④ 家庭教育に関する学習機会を提供するため、「ママさん教室」、「男性の子育て講座」、「家庭教育セミナー」を開催 	学習機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ① 市民ニーズに応じた学習機会を充実するため、「市民教養セミナー」を実施 ② 国際理解や国際感覚を身につけるため、市民協働プロモーション事業「英会話教室」、「英語暗唱コンテスト」を実施 ③ 高齢者の学習機会を提供するため、「千歳高星大学」と「千歳高星大学大学院」、「若返り学園」を運営 ④ 家庭教育に関する学習機会を提供するため、「ママさん教室」、「男性の子育て講座」、「家庭教育セミナー」を開催

分野	項目	平成29年度の主な実施状況	平成30年度の主な取組
生涯学習	3 市民ニーズに対応し、安全で快適に利用できる社会教育施設の充実	社会教育施設の充実 ① 社会教育施設の機能充実のため、北ガス文化ホールにおいて、舞台吊物ワイヤーの交換や中ホール舞台の床改修を実施 ② 来館者の利便性と安全性の向上を図るため、千歳公民館の大集会室用のテーブル、イスの更新 新規	社会教育施設の充実 ① 社会教育施設の機能充実のため、北ガス文化ホールにおいて、舞台吊物ワイヤーの交換及び大ホール舞台床の一部改修を実施 ② 来館者の利便性と安全性の向上を図るため、千歳公民館分館の備品購入や照明設備のLED化などを実施 新規
	4 多様な文化鑑賞機会と文化活動の支援	文化鑑賞機会の充実 ① 子どもから大人まであらゆる世代が芸術文化に触れる機会を提供するため、北ガス文化ホールや市民ギャラリーにおいて音楽・演劇などの公演、絵画・写真等の作品展を実施 ② 文化芸術団体のネットワークづくりを支援するため、「文化芸術団体等連絡交流会」を開催し、単独による展示会開催が難しい団体が合同で行う「共同展示会」を開催、「生涯学習情報メールマガジン」や「学（まな）ブログ」を配信	文化鑑賞機会の充実 ① 子どもから大人まであらゆる世代が芸術文化に触れる機会を提供するため、北ガス文化ホールや市民ギャラリーにおいて音楽・演劇などの公演、絵画・写真等の作品展を実施 ② 文化関係団体の活動などを紹介する「生涯学習情報メールマガジン」や「学（まな）ブログ」を配信
		読書環境の充実 ① 読書環境の充実のため、市立図書館における高齢者入所施設へ貸出を行う「高齢者支援サービス」の実施、乳幼児を持つ母親が気軽に来館できる「赤ちゃんタイム」を毎月1回実施	読書環境の充実 ① 読書環境の充実のため、市立図書館における高齢者入所施設へ貸出を行う「高齢者支援サービス」の実施、乳幼児を持つ母親が気軽に来館できる「赤ちゃんタイム」を毎月1回実施 ② 子どもたちの読書に対する意欲を高めるため、「読書手帳」を配布 新規
	5 文化財の保護と継承	国指定史跡キウス周堤墓群の保存と活用 ① 国指定史跡「キウス周堤墓群」を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を目指した取組を実施 ② 市民団体「キウスを守る会」の活動支援、市民ボランティアガイドの育成	国指定史跡キウス周堤墓群の保存と活用 ① 国指定史跡「キウス周堤墓群」を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を目指した取組を実施 ② 市民団体「キウスを守る会」の活動支援、市民ボランティアガイドの育成
	6 思いやりの心とチャレンジ精神を育む青少年の健全育成活動の推進	青少年健全育成活動の推進 ① 自然体験や地域文化の理解、科学探究活動の充実を図るため、「チャレンジ教室」などを開催し、体験活動事業を実施 ② 英語に対する興味や関心を高めるため、小学5、6年生を対象に「イングリッシュキャンプ」を年2回実施 ③ 青少年の非行防止のため、「青少年指導センター」の専門指導員による街頭巡回指導、早朝・夜間指導、神社祭りや盆踊りの特別指導、列車指導などを実施	青少年健全育成活動の推進 ① 自然体験や地域文化の理解、科学探究活動の充実を図るため、「チャレンジ教室」などを開催し、体験活動事業を実施 ② 英語に対する興味や関心を高めるため、小学5、6年生を対象に「イングリッシュキャンプ」を年2回実施 ③ 青少年の非行防止のため、「青少年指導センター」の専門指導員による街頭巡回指導、早朝・夜間指導、神社祭りや盆踊りの特別指導、列車指導などを実施